

夢島プロジェクト『高校生による地域活性化』

— 人と繋がることで見えてきたこと —

きっかけ

広島県因島在住の私は、弓削島にある弓削高校に通っています。
1年生のときに参加した弓削島のボランティアにより、弓削島民のあたたかさや課題を知りました。
そこで私は、大好きになったこの島のために何かしたいと考え、夢島プロジェクトを立ち上げました。

感想

このプロジェクトを通して1番学んだことは、人との繋がりでした。
プロジェクトをしなければ出会わなかった人も多くいます。
多くの人と繋がることができたことは私にとってかけがいのないものとなりました。
高校生だからできないと諦めるのではなく、高校生の今だからできることが多くあることを知りました。

コメント

プロジェクトをするにあたって応援やご協力をしてくださった方々に感謝したいです。
私一人ではジタバタするばかりで何もできていません。
本当にありがとうございました。
今後も「常に行動する」をモットーに活動していきます。

愛媛県立弓削高等学校 2年 山田 彩乃



弓削島の更なる活性化を目指して

審査員からのコメント

ボランティア活動を通し弓削島の課題を明確化した上で、自身の考えた「夢島プロジェクト」の活動をわかりやすく述べていた。地元住民、地域団体と綿密に連携しながら「防波堤アート」や絶景スポットなどの魅力を参加者に伝えるべく、ストーリー性を重視し参加者に沿ったイベントが企画されていた。また現在のコロナ下でも「折り紙プロジェクト」と題してフォトムービーを配信するなど、弓削島の魅力発信を多面的に行っている点が評価できた。

